

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 憧れの海外勤務での奮闘

福岡県環境部環境政策課 根木 勇也

学生時代から国際関連に興味があり、海外勤務にも憧れていたところ、クレアへの派遣が決まりました。当時を振り返るたび、自分の人生で最も心に残る3年間だったと思います。

### 忘れられない海外での業務

クレアシドニー事務所では、日本へのインバウンド促進業務の担当になりましたが、当時は新型コロナウイルス感染症の拡大により海外渡航が困難となり、例年の業務ができない状態でした。そんな中でもコロナ明けの観光需要を狙う日本の自治体を対象としたオンラインセミナーを計3回実施しました。現地の日本政府観光局(JNTO)、日系旅行会社、観光PR会社に直談判し、日本ではなかなか聞けない現地視点のお話を提供できたと思います。

新型コロナウイルス感染症が落ち着いてからは、派遣元の福岡県の新規事業に力を注ぎました。その事業は、県内の大学生を現地日系企業に派遣してビジネス体験をしてみようというものでした。何としても成功させたいと思い、プライベートで知り合った日系企業の方々に声をかけて回り、結果的に観光・飲食・商社・不動産などの約10社に協力いただきました。現地飲食店での就労体験や空港内見学、営業同行といった珍しい経験を学生たちに提供することができ、異国での人脈の大切さを学びました。

赴任最後の年には「インターンシップ」として、ノーザンビーチズ市を訪問してデジタル行政について学ばせてもらいました。メールによるアポ取りをクレアシドニー事務所での「所長補佐 (Assistant Director)」という立派な肩書で行ったからか、訪問すると各部署の幹部との面談が1時間ごとにセッティングされていて、とても動揺しました。受け入れたことを後悔させないように、英語での説明に必死で喰らいつきつつ、話の流れ

に沿った質問や日本との違いの説明を行うなど、終わった頃にはクタクタでしたが、とても良い勉強になりました。また、面談で得られた情報や独自調査した内容をクレアの卒業論文とも言われる「クレアレポート」にまとめました。その後、現地日系企業の幹部の方がそのレポートを目にして、「とても参考になった」と言っていたという話を聞き、苦勞した甲斐があったと思いました。



ノーザンビーチズ市のデジタル行政戦略を統括する最高情報責任者との写真

### 自分の常識は海外では非常識

オーストラリアには妻子帯同でしたが、家族全員にインフルエンザのような症状が出て、やっと予約の取れた病院で医師に診てもらおうと、「なんでこのくらいの症状で病院に来たの？市販の風邪薬を飲んでおけば大丈夫よ！」と屈託のない笑顔で言われて帰されたことがありました（指示に従うとすぐに症状が治まりました）。この経験のように、現地では自分の中の常識を考え直される経験が多々ありました。それにより得られた「自分の常識を疑う」という思考習慣は海外勤務のおかげであり、これからも大切にしていきたいと思います。

#### プロフィール

クレア在籍時の所属  
2020年4月～2020年10月 総務部企画調査課  
2020年10月～2023年3月 シドニー事務所